

第77回栃木県芸術祭美術展イベントのお知らせ

県内外で活躍する講師によるワークショップを開催いたします。
多くの皆様の参加をお待ちしております。お気軽にご参加ください。

洋画部門 初めての油絵体験

- 日時 令和5年9月23日(土) 10時~12時
- 講師 松野 行 [日展会員、県芸術祭審査員]
- 対象 小学生以上 (小学生は保護者同伴で)
- 定員 15名 (要事前申込・先着順)
- 参加費 1,000円
- 会場 栃木県立美術館 普及分館
- 内容 油絵未経験者が対象です。描きたいものがある方は、写真やスケッチをご持参ください。他の方には、見本を用意するのでそれを模写していただきます。用具及び材料は用意します。
- 持ち物 汚れてもよい服装でご参加ください。



書道部門 彩りのある年賀状作り 干支印を彫ってみよう

- 日時 令和5年10月29日(日)
13時30分~16時30分
- 講師 大浦星齋 [県芸術祭専門委員
・県書道連盟副会長・下野書道会理事]
- 対象 中学生以上
- 定員 30名
- 参加費 1,500円
(練習用印材代・資料代を含む)
- 会場 栃木県立美術館 普及分館
- 内容 漢字の最も古い書体である篆書の魅力に触れながら、手作りの印を製作してみましょう。初心者の方にも丁寧にご指導いたします。
- 持ち物 篆刻用具 (印刀、印材、印床、小硯2、小筆2、鏡、印泥、筆記用具、定規)
※お持ちでない方にはお貸しいたします。



昨年の干支「癸卯」
による年賀状例

洋画・彫刻・工芸
栃木県立美術館

9月23日(土)~10月5日(木)

〈休館日：9月25日(月)・10月2日(月)〉

批評会 洋画 9月23日(土) 14時00分
工芸 9月24日(日) 13時30分
彫刻 10月1日(日) 14時00分

栃木県
芸術祭
美術展

日本画・書道・写真
栃木県総合文化センター

10月28日(土)~11月7日(火)

批評会 日本画 11月4日(土) 10時30分
写真 11月4日(土) 13時30分
書道 11月5日(日) 13時00分

写真部門 さて、次はどうする？ —写真シリーズにチャレンジ—

- 日時 令和5年11月4日(土) 10時~12時
- 講師 千代田路子 [写真家・県芸術祭審査員]
- 対象 どなたでも
- 参加費 無料
- 会場 栃木県総合文化センター 第3ギャラリー
- 内容

意欲のある写真愛好家の皆様は、もっと良い

写真を撮りたいと日々努力されています。
それぞれの目標や課題に向けて次はどうし

ようかと考えられている皆様に、単写真の
制作と合わせて、複数枚で構成した写真シリーズ作品を作り、発表することをお勧めしたい
と思います。それによって、写真の上達のみならず、表現活動の楽しさをより体験できると
思います。



日本画部門 ①はじめての日本画講座3 ~筆の使い方~ ②「鳥獣戯画」模写

- 日時 令和5年11月4日(土)
13時30分~16時00分
- 講師 ①阿良山早苗 [日本美術院 院友
文星芸術大学非常勤講師]
②中村 晃子 [日本美術院 院友]
- 対象 中学生以上
- 定員 ①10名 ②15名
(①②とも要事前申込・先着順)

- 参加費 1,000円
- 会場 栃木県立美術館 普及分館

- 内容 ①今年、日本画で良く使われる筆や刷毛の種類や基本的な使い方を学びます。
経験者の方も絵具の溶き方など基本の学び直しに、どうぞご参加下さい。
②有名な「鳥獣戯画」を模写し、簡単な方法で色紙に貼り込みます。

- 持ち物 ・墨、硯または墨汁
・筆(面相、彩色、即妙いずれも中程度。他、お手持ちのものを持参下さい。)
・絵皿(4枚以上・梅皿または、パレット)
・鉛筆(HB)・タオル・ティッシュ

※汚れても良い服、エプロンなどをご用意ください。

※①を受講される方

○2B以上の濃い鉛筆と絵皿と梅皿またはパレット両方ご用意下さい。

○描きたいものがある方は、スケッチをご持参ください。



①



②

お申し込みは、

住所・氏名・年令・電話番号をご記入のうえ、ハガキ又はファックスで

〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県文化協会事務局へ

TEL 028-643-5288

FAX 028-643-5296